

「地域課題分野（海岸）」
（令和3年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
超広域から狭域に渡って気候変動による海岸地形の長期変動が推定できる海浜変形数値モデルの開発および実用化に関する研究	熊本大学 金 洙列	B
<p><研究概要> 将来の気候変動や人為的な改変による影響等を考慮した、海浜変形の予測を行い、その予測に基づいた対策を実施する順応的な砂浜管理が求められている。本研究は、河川からの土砂供給と沖合への損失を考慮しつつ、過去および近未来の極端擾乱および定常時における気候変動が海浜変形に及ぼす影響を考慮し、現実に近い海岸地形変化を推定する「高潮、波浪、潮汐、高波の越波および打ち上げ、氾濫、河川流量、海浜変形の結合モデル」を開発するものである。</p>		
<p><事後評価指摘事項> 研究課題に対して様々な工夫をして取り組まれたことに敬意を表する。ただし、一部、リクワイヤメントに適切に応じた研究ができていないように思われることや、測量結果との比較検証が必要である。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとは言い難い。